

2020 年度
ミス・パリ・ビューティ専門学校
東京校

自己評価報告

2021 年 4 月

学校法人ミスパリ学園
ミス・パリ・ビューティ専門学校
東京校

2020 年度 自己評価について

学校法人ミスパリ学園が運営するミス・パリ・ビューティ専門学校は、東京都豊島区池袋に 2010 年 4 月に開校しました。

本校の前身となるミスパリエステティックスクールは、31 年の歴史があり、エステティック教育においては、常に先進的な理論と技術を教授し、その授業時間も 300 時間、1,000 時間と増やすことにより、カリキュラムを充実させてきました。また学生がより興味と意欲を持って学習する環境を構築するため、2014 年度入学生から選択コースを実施しております。

専修学校として再スタートを切る際には、全国でもあまり類を見ない 2 年間で 2,085 時間という非常にハイレベルのカリキュラムを編成し、即戦力人材の育成に注力し、有為な人材を関係業界だけでなく他分野にも多数輩出してまいりました。

また、エステティックだけでなく、厚生労働大臣の指定を受けた美容学科も併設し、総合的な美容のプロフェッショナルを育成する美に特化した専修学校であると自負しております。美容師国家試験における高合格率の実績は、教育が充実している証と考えております。引き続き 100% の合格率を目指し教育の充実を図ってまいります。

これからも本校の教育理念である「美しく聡明で品格あるプロフェッショナルの育成」を基本とし、教育内容の更なる充実を図り、日本のみならず世界で活躍できる人材育成に向け、教職員一同努力してまいります。

以下にあるとおり 2020 年度の自己評価の取り組み状況をご報告いたします。

自己評価の目的は、本校に関する各項目を教職員が客観的に評価することにより、改善点を見出し、更に実践的な教育プログラムを充実させることにより、学生はもとより教職員の質の向上に資するものです。

学生が卒業後も活躍できる環境の醸成に向け、今後も引き続き、企業や業界団体の皆様のご理解、ご支援を賜りたいと存じます。

1. 評価実施期間

2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日

2. 実施方法

(1)校長以下、副校長、学年主任、教育課主任が中心となり、各教職員が連携して評価を行う。

(2)評価は「専修学校における学校評価ガイドライン」を参考にしている。

(3)評価は、年度終了後速やかに行い、年 1 回行うこととする。

(4)評価結果は、学校関係者評価委員に報告するとともに、現状と今後の改善、解決に向けた取り組み等を公表することとする。

3. 自己評価の項目

- | | | | |
|------------|---------------|------------|---------|
| (1)教育理念・目標 | (2)学校運営 | (3)教育活動 | (4)学修成果 |
| (5)学生支援 | (6)教育環境 | (7)学生の受入募集 | (8)財務 |
| (9)法令等の遵守 | (10)社会貢献・地域貢献 | | |

4. 評価項目に対する評価

評価は 5 段階とし、

5：良好 4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

以上

2020 年度 ミス・パリ・ビューティ専門学校 自己評価表

1. 学校の教育目標

本校の教育理念「美しく聡明で品格あるプロフェッショナルの育成」を念頭に、学校法人ミスパリ学園としての自覚と自負の下、「充実した教育課程」「学生獲得」「就職確保」の3本柱を全教職員の力で全うし、わが国トップクラスのトータルビューティの専門学校を目指す。

2. 本年度に定めたい重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- 1) 教育の質の向上、魅力的で楽しく、充実した内容の授業を行う。講師の評価制度を確立する。
- 2) 募集定員の確実な達成を図る。
- 3) 学生の遅刻・欠席をなくし、進級率 90%を達成する。
- 4) 学生の体力、人間力の向上を図る。
- 5) 働くことの意義を理解し、社会で活躍できる人づくりを行う。
- 6) 即戦力になる人づくりを行う。
- 7) 学園（姉妹校 4 校）の協力により、相乗効果を上げる取り組みを行う。

3. 自己評価

良好… 5 適切… 4 ほぼ適切… 3 やや不適切… 2 不適切… 1

(1) 教育理念・目標

	評価項目	評価	前年度
1	学校のビジョン及びそれを実現するための方針を策定しており、かつ、教職員に理解されているか	4	4
2	特色ある学校づくりを進めるために、求められる仕事及び求められる人間性を明確にし、学校独自のカラーを出しているか	5	4
3	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが、学生や保護者等に周知されているか	5	4
4	目標に対する評価を年度内に実施し、その結果を教職員に周知するとともに、次年度の目標につなげているか	4	4
5	教育目標、育成人材は学科等に対する社会のニーズに向けて方向付けられているか	4	4

課題

- ・プロフェッショナル教育の基本として、挨拶や返事、言葉遣いの指導を強化し、更に学生の接客力とコミュニケーション能力の向上を図る。
- ・身だしなみや施設・設備環境などに対しては、何時誰が来ても常に学内がきれいな状態を保てるように、レベルアップを図る。

取り組みと結果

- ・オープンキャンパスなどの行事を通して、学生の接客力向上の指導を行っている。挨拶や返事についても、引き続き登下校時や授業開始及び終了時に徹底を図っている。
- ・クリンネスの指導を強化することで、校内をきれいな状態で維持、管理をすることができてきている。設備についても不具合箇所が見つかり次第、改修等対応を行っている。

今後の課題と改善事項

- ・オンライン授業に関しては、対面授業と同等若しくは繰り返し復習できることから、それ以上の学修成果が得られた。今後も授業の工夫を行うことにより、更に学生が理解しやすい内容の構築を行っていく。
- ・学生が実社会に出た時に、それぞれの環境に合わせた業務の遂行ができるように、柔軟な思考と能力を身につけさせる指導を行う。

(2) 学校運営

	評価項目	評価	前年度
1	事業計画等に沿った運営方針が策定されているか	4	4
2	学校運営などに学生の意見が反映されているか	4	4
3	地域社会への貢献の一環として、学校施設を地元に開放しているか	4	4
4	地域との協力関係が確立されているか	4	4
5	運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されていて、有効に機能しているか	4	4
6	人事・給与等に関する規程等は整備されているか	4	3
7	教務・財務等の組織整備など意志決定システムは整備されているか	4	4

8	教職員の健康診断を実施しているか	5	5
9	各種システム化等により業務の効率化が図られているか	4	4
10	ホームページは、適宜更新し、見やすくしているか	5	4
11	学校評価を組織的に実施し、評価結果を教職員に周知するとともに、改善計画を策定しているか	5	4
12	学校運営及び評価の結果を学校関係者以外に、何らかの方法で公表しているか	5	4
課題 ・人事評価システムを策定し、教職員に対する周知理解を深める。 ・学校ホームページの更新については、頻度が下がらないように、常に最新の情報発信ができるようにしていく。 取り組みと結果 ・人事評価システムが構築され、仕組みについても教職員に対して周知を行った。その結果、自分自身の自己評価を行うと共に、上長との面談も直接行う機会が設けられ、評価に対する透明性が感じられるようになった。 ・ホームページの更新については、閲覧者の目線で見やすいようにレイアウトが変更され、動画で情報提供ができるコンテンツも追加している。 ・学生管理システムの導入により、学生データが一括管理出来るようになった。また、システム内ポータルサイトを使い学生とのコミュニケーションツールとしても活用している。 今後の課題と改善事項 ・学生管理システムの機能を、さらに活用できるように教職員の運用スキルを向上させていく。 ・コロナ禍においても学生及び教職員が安全に授業のできる環境を構築すること。 ・在校生の増加にともない、校舎設備の改修が必要になる為、優先順位を考慮して計画的に対応を進める。			

(3)教育活動

	評価項目	評価	前年度
1	教育課程は、教育理念・教育目標と一貫性がある内容になっているか	5	4

2	定期的に教育課程の評価を組織的に行い、時代の要請、変化にあったものに修正しているか	4	4
3	シラバス（授業計画書）は、学生が授業内容を理解しやすく、授業内容と一致しているか	4	4
4	効果的な授業運営を図るため、適切に時間割を調整しているか	4	4
5	授業内容や指導方法が学生レベルに合うよう工夫・改善しているか	5	4
6	学生に修了認定のための評価基準と方法を公表しており、かつ、評価は公平性・妥当性が保たれているか	5	4
7	評価結果による教員面接・指導が行われているか	5	4
8	未修了科目の原因分析を教員側と学生側とで実施し、対応策を講じているか	5	4
9	資格対策に個々の学生にあった指導・援助を実施するなど、教職員一丸となって取り組んでいるか	5	4
10	人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	4
11	教職員のスキルアップのための研修を行っているか	4	4
12	研修や出張で学会等に参加した成果を他の教職員に還元する仕組みがあるか	4	4
13	教職員の授業を他の教職員、または外部関係者が参観、講評できる制度があるか	4	4
14	教職員による自己評価が定期的に行われているか	5	4
15	インターンシップ等を利用して、職業選択について深く考える契機を提供出来ているか	4	4
16	関連分野の企業・関係施設や業界団体等との連携によりカリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	4
課題 ・美容師国家試験で2名が学科試験による不合格となった。			

- ・学生の授業履修において、未修了科目と判定される原因は出席不足や定期考査の追再試験を含めた試験の不合格である。出席不足は授業内容の理解が十分に得られないので、出席に拘った指導を強化する。
- ・卒業後のフォローとして次回受験に向けた試験対策の補講を実施し、国家試験に合格出来るようにフォローアップを行っていく。

取り組みと結果

- ・美容師国家試験の受験対策として、放課後や休日の補習指導等を行ったが、結果に結びつけることが出来なかった。
- ・学生の出欠席については早目の対応をしてきたので、2年生において卒業式前に補習をする学生は少なかった。
- ・前回の美容師国家試験不合格者（1名）に対して、フォローアップを行った結果、合格することができた。

今後の課題と改善事項

- ・美容師国家試験対策として、定期考査以外に小テスト・チェックを実施し、合格基準に満たない学生には課題提出や補習授業を行っていく。また、不合格となる理由の多くは衛生取扱い審査及び筆記試験の合格点未達であるため、1年次から細かい指導を行っていく。
- ・コロナ禍でインターンシップが実施できない企業もあるため、学内の行事やオープンキャンパス等のイベント、サービスマナーの授業などから接客の基本をしっかりと教育していく。
- ・オンラインと対面式の授業を組み合わせる指導・教育を行う中でも、今までと同等かそれ以上の教育効果が得られるように実施方法を検討・構築していく。

（４）学修成果

	評価項目	評価	前年度
1	学生の就職に関する目標を設定したか。またその成果は十分か	5	4
2	学生の資格取得目標を設定し、その結果検証をおこなっているか	5	4
3	中途退学者を少なくする工夫・努力をしているか	4	4
4	卒業生の就職先での評価を把握し、問題点を明確にしているとともに、その改善策を講じている	4	4

課題

- ・就職内定率は100%を達成したが、就職先内定が決まる時期のばらつきが大きかったこと

から次年度は資格試験等の実施時期を考慮して、前期終了を目安に全員就職内定が達成できるように指導をしていく。

- ・学生の進級率、卒業率を更に向上させることを目標として、学生のモチベーションの維持・向上などフォロー体制を取りながら指導を行っていく。
- ・美容師国家試験 100%合格を達成するために、実技、学科科目ともに受験対策の見直しと強化を図る。
- ・経済的理由で中途退学者を出さない施策の一つとして、学費納入方法の検討や各種奨学金手続きのサポートを行い、新たな給付制度等にも速やかに対応し、学生が安心して学ぶことができるように充実した制度整備を図る。

取り組みと結果

- ・早期の就職内定獲得の意識を持って、学生指導を行ってきた。結果としてはトータルビューティ学科 100%、美容学科 95.2%であり、美容学科の学生 1 名が、卒業式前までに就職を決めることが出来なかった。
- ・進級率、卒業率の向上を図るために、各学科共に学生への細かいフォローを実施した。
- ・中途退学する学生の殆どは、コミュニケーションが苦手で、学習に対するモチベーションが上がらないことが理由であったことから、改善策の一つとして、クラス担任以外の教職員もカウンセリング対応を行った。
- ・結果として、トータルビューティ学科は前年度比較で退学者の減少となったが、美容学科においては前年比で増加となってしまった。

今後の課題と改善事項

- ・各学科就職率 100%を達成させるために、早期就職活動を促していく。目安となるのは例年通りエステティシャン志望の学生は 7 月末まで、それ以外の学生は前期末までに目標を達成させる。また、時期が早いだけでなく、内定辞退や離職につながらないように、仕事や社会人の心構えを身に付けさせる教育の強化を行う。
- ・今までより細かく、学生に関する教職員間の情報共有及び保護者とのコミュニケーションを取り、学校と家庭双方で学生を支え、進級率と卒業率の向上を図る。
- ・美容師国家試験合格率 100%達成の為に、緊張感を持たせた指導を行っていく。

(5) 学生支援

	評価項目	評価	前年度
1	学生の心身面での健康管理体制が整っている	5	4
2	学生生活、進学、就職に関して学生の相談に十分応じているか	5	4

3	学生のクラブ活動やボランティア活動などの自主活動を支援しているか	4	3
4	災害など非常時の危機管理体制が整っているか	4	4
5	奨学金等の経済的支援があるか	5	5
6	学費減免、学費分納制度があるか	5	5
7	学生寮を保有、または紹介をしているか	5	5
8	卒業生への再教育、または就職支援体制はあるか	5	4
9	社会人のニーズを踏まえた教育環境は整備されているか	5	4

課題

- ・寮の運営については、共同生活を行い寮生が学生の模範となれるように、細かい生活指導を行い、寮生活を送りながらより深い人間教育ができるようにする。
- ・卒業生の親睦会である「白百合会」については、3ヶ月～半年前からの告知を行い、卒業生が参加しやすい環境を作る必要がある。また、卒業生が来校してくれた際にも連絡を取っている同窓生の情報収集を行う。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた学生支援の一環として、自己や家庭の経済環境が変化した学生に対して、国の奨学金対応を含め学費納入に関するフォローを行う。
- ・ボランティア活動の一環として一部の学生の活動はあったが、学校全体での取り組みとして活動を構築する必要がある。またクラブ活動の運営については、学生のヒアリングを基に検討する。

取り組みと結果

- ・寮生会の実施により、清掃および自主活動が行えるような指導をしたことで、以前に比べて寮内の秩序が保てるようになってきている。2020年度寮生の中から、進級特待生を2名輩出することができた。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響による家計が急変した在校生の奨学金申請等の対応は殆ど無かった。
- ・コロナ禍において学生が集団活動することが難しい為、卒業生イベントの実施やクラブ活動などについての検討は先送りになっている。

今後の課題と改善事項

- ・池袋寮・西日暮里寮の老朽化にともない、設備の修繕頻度が上がってきている。今後、大規模な改修や修繕工事等を検討する必要がある。
- ・学校生活において、コミュニケーション不足による様々な不安を抱えている学生を細かくフォローをしていく。引き続き外部の団体等とも相談を行い、学生をサポートしていく。
- ・社会人を対象としている各学科、コースや各種の指定講座については、年間計画を作成し、入学時期や開講条件等を整備する。

(6) 教育環境

	評価項目	評価	前年度
1	教育目標達成に必要な施設、設備及び新しい教材が整っており、活用されているか	4	4
2	施設・設備等の定期点検、補修等について適切に対応しているか	4	4
3	教職員・学生に防災研修・教育を行っているか	5	4
4	学校行事の運営等に学生を積極的に参画させているか	5	4

課題

- ・クリンネスに対する意識向上のために、掃除を授業終了時に学生全員で実施し、常に美しい学校を目指し、自ら美化に気付ける力を身に付けていく。
- ・教職員の防災に対する意識を高めるため、防災訓練を実施し、防災に関する研修を行う機会を設ける。
- ・年度末に起きた新型コロナウイルス感染拡大防止対策の為、学生の学びの集大成となるコンテスト行事や卒業式が中止となってしまう、学生自身が参画する機会の行事が減ってしまった。今後は環境に注意しながら、学生主体となる行事について、実施検討をしていきたい。

取り組みと結果

- ・汚れたら掃除する、落ちているゴミを拾う等の当たり前の行動が見られるようになってきている。一人でも多くの学生にプロ意識と美意識を持って行動ができるように指導を継続していく。
- ・最終的に学内における行事については、新型コロナウイルス感染拡大のため、実施ができなかった。

今後の課題と改善事項

- ・クリンネスを指導すると共に、新型コロナウイルス感染拡大防止対策の観点からも衛生面（消毒）の徹底を図っていく。

- ・ 学生が、学びの集大成として作品や技術が披露できる行事の実施を検討する。
- ・ 施設・設備について更なる環境整備を心がけ、より充実した教育が行えるようにしていく。

(7) 学生の受入募集

	評価項目	評価	前年度
1	学生募集計画があるか。また成果は十分か	4	4
2	学校案内等には育成人材像が明示されているか	5	5
3	学校案内等には目指す資格・検定試験等が明示されているか	5	4
4	学校案内等には学費・教材費が明示されているか	5	5
5	入学（予定）者に対し学習、学生生活のためのオリエンテーションは行われているか	5	5

課題

- ・ 臨場感のある学校の様子を広く一般の方にも学校の運営を知っていただくことを目的に、プライバシーとコンプライアンスに十分な注意を払い、在校生による SNS の情報発信を行っていく。
- ・ SNS を活用し、入学希望者とのコミュニケーションが取れるように強化していく。
- ・ 入学定員を達成するために、今まで以上に各部門（教務・学生募集・業務推進課）で連携をとり、より魅力のある学生募集活動を行う。
- ・ オンラインシステムによる個別相談やオープンキャンパスを来校型と並行して実施し、入学希望者のオンデマンドに対応できる仕組みを作る。
- ・ 本校で取得可能な資格について、その資格の価値やより詳細な内容について学校案内やホームページ等を通して周知できるようにする。

取り組みと結果

- ・ 新型コロナウイルス感染拡大の中にあって、在校生発信の SNS は周りへの配慮等、難しかったが、youtube 動画の配信を行い学校の PR を行うようにした。LINE の登録者数を増やすことで、入学希望者との繋がりを持つことができた。
- ・ 各部門での連携を意識するようになり、以前よりもスムーズに情報共有ができてきている。
- ・ オープンキャンパスにおいて、学生達も以前に比べて学科の垣根なく、来校者の対応ができてきている。また、学科を超えた学生同士の連携も見られるようになった。
- ・ オンラインと来校型のオープンキャンパスを実施することで、入学希望者の事情に合わせ

た対応を取ることが出来、結果として、入学者数の増加にも繋がった。

今後の課題と改善事項

- ・各学科、募集定員の達成をすること。
- ・コロナ禍の影響により、今後も引き続きオンラインでの入学希望者の対応をしていくことが予想されるので、学校の魅力が最大限に伝わる演出やシナリオを構築すること。

(8) 財務

	評価項目	評価	前年度
1	予算計画、年間事業計画を策定し、適正な予算の執行・進捗管理を行っているか	5	4
2	財務について会計監査が適正に行われているか	5	5
3	財務情報公開の体制整備はできているか	5	5

課題

- ・職員会議で経費情報を共有し、教職員のコストに対する意識を高める。
- ・出納担当者から教職員に向けた、適正な経費支出とシステム操作確認の講義を定期的
に実施する。

取り組みと結果

- ・全体的に印刷物のミスや物品に関する重複が減ってきており、教職員のコスト意識が向上してきている。
- ・必要経費に関する申請方法については、定着をしている。

今後の課題と改善事項

- ・引き続き、物品や経費に関するコスト意識を持って、各職員が業務を行うようにする。
- ・情報公開資料を参考に教職員間で情報共有を行い、財務状況を理解できるようにする。

	評価項目	評価	前年度
1	法令や専修学校設置基準を遵守しているか	5	4
2	学生指導において、学生に対して人権への配慮がされているか	5	5

3	学生、非常勤講師や教職員の個人情報の保護について、考慮しているか	5	4
4	自己点検・自己評価を定期的実施し、問題点の改善につとめているか	5	4
5	自己評価結果を外部に対して公表しているか	5	4
課題 ・学生指導における人権への配慮をする意味でも、情報の共有をする際には漏洩がないように徹底して管理を行う。 ・情報公開の資料について、何が公開されている資料なのか把握できていない教職員がいる可能性があるため、職員研修や職員会議にて再度説明し周知の徹底を図る。 取り組みと結果 ・職員会や教職員研修会で、情報公開されている資料とその理由について周知をしたことで、教職員の認識が上がり、評価が向上した。 ・自己点検・自己評価を行うことで、教職員個人や部門での目標を明確にすることができた。 今後の課題と改善事項 ・学生、教職員の個人情報が漏洩しないように引き続き、学校運営において最大限に配慮する。 ・法令以外でも、学校が定めているルールを遵守するように、学生指導を行う。			

(10) 社会貢献・地域貢献

	評価項目	評価	前年度
1	学校の実習施設を活用するなど高等学校の職業教育の実施に協力・支援しているか	5	4
2	環境問題など重要な社会問題の解決に貢献するための活動を行っているか	4	4
3	受け入れ、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	5	4
4	学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4	4
課題 ・新型コロナウイルス感染拡大防止に努め、学校から感染者を出さないための予防と対策を立てる。具体的には施設の消毒、学生、教職員の手洗い、手指消毒や検温の徹底管理を行い、教職員・学生の安心・安全の確保に努める。 取り組みと結果			

- ・学校入り口での検温と手指消毒を徹底することに加えて、昼食時のパーテーション設置や授業中の換気をこまめにするように指導をしている。

今後の課題と改善事項

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策を実施しつつ、安心・安全に学校見学希望者の受け入れができるようにしていく。
- ・各学科は「衛生専門課程」である為、卒業後にも衛生面を考慮したプロフェッショナルな対応ができるように、学生の教育指導を行う。